学校番号２０
杉並区立四宮小学校長　浮ケ谷　優美

令和４年度　杉並区立四宮小学校の学校経営方針

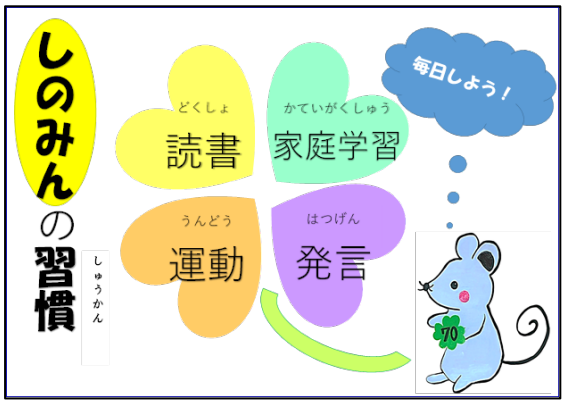
1　目指す学校

心をつなぎ　みんなのしあわせをつくる　笑顔が輝く学校

人権尊重の精神を基調とし、真理と平和を追求し、自分の良さを見付け、自ら学び、考え、判断し、行動できる力をもった人間性豊かな児童を育成する。

○じょうぶな子　　心と体を一体として捉える健康教育
◎かんがえる子　　深く考え、共に学ぶ　主体的な学習
◎すすんでする子　　諦めず学び続けたり取り組み続けたりする態度
○おもいやりのある子　　自分も他者も大切にする「こころ」

2　目指す学校の実現に迫るキーワード

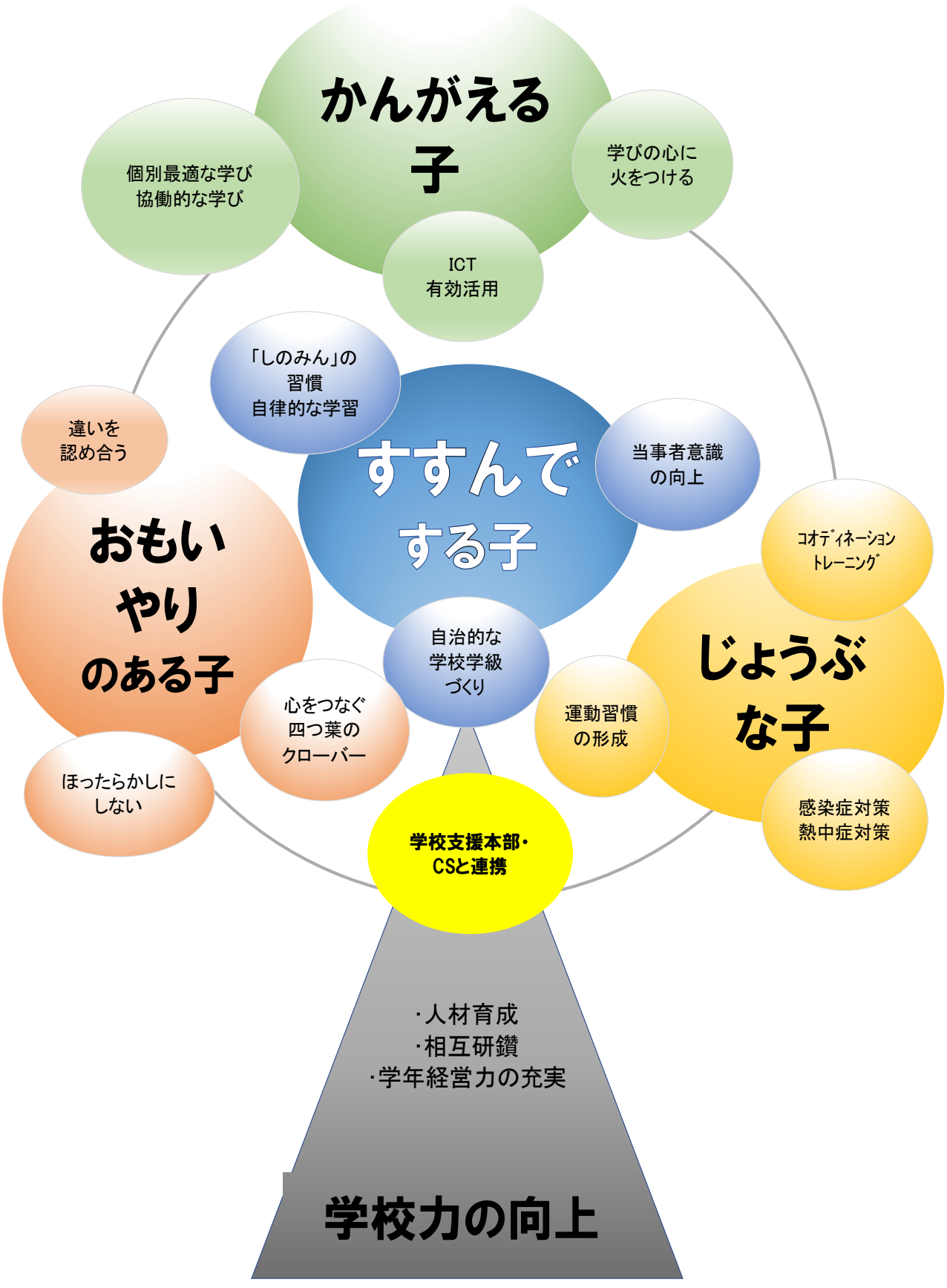


3　取組目標と方策

令和４年度　●最重点項目　◆新規　◇追記

	目　　標	方　　針	具体的な方策
徳	○人権尊重の精神の浸透	・自ら学び、考え、判断し、行動できる力（自己指導能力）の育成	・きまりの意義や価値の理解と生活規律の定着。 ・呼称、丁寧な言葉遣いの徹底。
		・多様性に気付き、ちがいを認め合う心情の育成◆	・一人一人に役割と居場所があり、安心して過ごせる温かな学級づくりの推進。◆ ・クローバー学級との交流、共同学習の推進。◆
		・深い児童理解に基づく共感的な学級経営の充実を図る。	・いじめアンケートの実施。 ・いじめ早期発見、複数対応、丁寧な事実確認、早期解決。
	○豊かな心の育成	・道徳教育の充実を通して、よりよく生きようとする意欲の醸成を図る。（自己肯定感の向上）	・自分と向き合う道徳授業の充実。 ・道徳科における校内研究分科会協議の充実。 ・自他の存在を認め、互いを大切にする挨拶の習慣化。
	○よりよい人間関係の構築	・自他の存在を認め互いを大切にする意識を醸成する。	・心をつなぐ「挨拶、感謝、応援、役立つ」の行動化の推進。 ・多様性への寛容、互いの良さを認め合う居心地の良い学級づくり。
		●自治的な学校学級づくりを推進する。	・児童が参画する学校づくり。当事者意識の醸成。自己決定の尊重。 ・児童が主体となる児童会・学級会活動の推進。 ・異学年交流を通したリーダーシップ、フォロアーシップの育成。

知	○主体的・対話的・深い学びの充実	・好奇心や探求心を大切にした「学びの心に火をつける」指導方法の工夫・改善を図る。◆	・対話を大切にした学び、教え合いの場の設定、ICTの活用。◆
		・ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びを推進する。	・一人一台TBを有効活用（ロイロノート他、学習アプリ）
		・双方向のコミュニケーションの充実を図る。	・的確に聴くことを重点とした対話の質の向上
	○専門性の高い指導の実現	・教科担任制、交換授業を推進する。 ・教科担任制の充実を図る。	・５，６年理科・社会科の一部教科担任制継続 ・５，６年外国語科専科制継続 ・音楽科（2～6年）、図工科（全学年）専科、算数（3～6年)習熟度別指導。
	○自律的な学習者の育成	・学習生活規律を徹底する。 ・学習習慣を形成する。 ・自ら課題を見付けてすすんで学ぶ。	・『しのみんの習慣』の浸透◆ ・「自学」の推進。家庭学習習慣の定着促進。 ・既習事項と関連付けた問題解決。 ・学習アプリを活用した家庭学習環境整備◆
	○タブレット活用環境の整備	・一人一台タブレットの有効活用に向けた環境整備を迅速に行う。	・タブレットを活用した指導法の共有化による指導技術の向上◆ ・オンライン配信等、ICT校内ルールの整備◆ ・ICT部会新設による環境整備・推進等、機動力の向上◆
体	○健やかな体の育成	・運動習慣を形成し、体力向上を図る。	・コオディネーショントレーニングの浸透◇ ・体育授業の充実。外遊びの励行。 ・学校支援本部と連携した朝遊びの実施（週3回）◇
		・自他の命を守る行動の浸透を図る。	・感染症対策、熱中症予防の徹底。
		・心身のバランスのとれた健康づくりを推進する。	・基本的な生活習慣の定着。
特別支援教育	○個に応じた指導の充実	・不登校へのきめ細かな対応	・オンライン等を活用した家庭への定期連絡、定期面談、諸機関との連携。◇
		・組織的な支援体制の充実を図る。	・「報告連絡相談」の徹底。生活、学習等の適切な把握。 ・校内委員会を中核とした支援体制の構築。 ・通常学級支援員、介助・学生ボランティア等の人材を活用した学級支援の充実。 ・巡回相談員、特別支援チーム等の専門家及び関係機関との連携。 ・パワーアップ教室の開催（月１回）◇
		・課題を焦点化した巡回指導の充実を図る。	・巡回教員と担任との密な情報共有、連携強化。
		・「できないことをほったらかしにしない」インクルーシブ教育システムの推進	・個に応じた支援方法の充実を図る。
学校運営	○開かれた学校づくり	・学校支援本部との協働体制の推進	・学校支援本部ボランティア（図書、環境）と児童会活動（図書・栽培・理科委員会）との協働。 ・朝遊びの継続、拡充。◇ ・外部人材を活用した体験型授業の充実。
		・地域と協働する特色ある教育づくりの推進	・CS(学校運営協議会）と特活部と連携した特色ある学校づくりの策定。◆
		・学校ホームページを活用した情報発信を推進する。	・「しのみやニュース」各学年月１回以上の更新。◇
		・幼保小中連携を推進する。	・井荻中学校、桃一小学校と連携したインクルーシブ研修会の実施。 ・近隣幼保園と連携した就学前交流の推進。◇ ・四宮森児童館と連携した連絡会の実施。
	○働きやすい組織づくり	・教員一人あたり持ち時数を削減する。	・余剰年間授業時数を削減。 ・教科担任制による教材研究時間のスリム化。 ・講師時数の有効活用。
		・教員在校時間削減を推進する。	・在校時間月80時間０，月60時間以下6割達成。 ・見通しや優先順位を考えた職務履行。 ・ICTの有効活用。 ・カリキュラム・マネジメント（棚卸し）の推進。
		・組織への貢献、職責の自覚を高める。	・分掌一役２人体制による職務の確実な履行。
		・学年経営体制の充実を図る。	・副担任制を導入し、チームで学年経営を行う。 ・交換授業の実施。
	○人材育成の推進	・授業力、教師力の向上を図る。	・全教員を対象にしたペアOJTの実施（月１回以上）による相互研鑽の推進。 ・管理職による年2回以上の授業指導。 ・月１回若手自主研修の実施。

【令和４年度　学校経営方針　イメージ図】

心をつなぎ笑顔あふれる四宮小